

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境			0.40					3.8
1 音環境		3.6	0.15					3.6
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		4.2	0.40					
1 開口部遮音性能	T-2サッシを使用	5.0	0.60					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0						
1.3 吸音	床-タイルカーペット、天井-岩面化粧吸音板	4.0	0.20					
2 温熱環境		3.9	0.35					3.9
2.1 室温制御		4.0	0.50					
1 室温		3.0	0.38					
2 外皮性能	窓:SC=0.44 U=2.5(W/m2K)、外壁:U=1.13(W/m2K)	4.0	0.25					
3 ゾーン別制御性	ゾーン別の空調システム計画	5.0	0.38					
2.2 湿度制御	加湿機能・除湿機能のある機器を設置	5.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		3.5	0.25					3.5
3.1 昼光利用		3.0	0.30					
1 昼光率		3.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		3.0	0.30					
1 昼光制御		3.0	1.00					
3.3 照度		3.0	0.15					
3.4 照明制御	作業単位ごとの照明制御機能	5.0	0.25	3.0				
4 空気環境		4.4	0.25					4.4
4.1 発生源対策		5.0	0.50					
1 化学汚染物質	内装仕上げ材は全てF☆☆☆☆を使用	5.0	1.00					
2 アスベスト対策								
4.2 換気		3.6	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能		3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮	基準階の空気吸込口と排気口の位置を考慮	5.0	0.33					
4.3 運用管理		4.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御	喫煙室の設置	5.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.8
1 機能性		3.5	0.40					3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.3	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応	OA機器用コンセント容量が40VA/m ² 以上、通信用配管確保	4.0	0.33					
3 バリアフリー計画		3.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30					
1 広さ感・景観	事務室天井高2.85m	4.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	各階にリフレッシュスペース+自販機置場の設置	5.0	0.33					
3 内装計画		3.0	0.33					
1.3 維持管理		3.5	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い内装材、外装材を考慮	4.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性		3.7	0.30					3.7
2.1 耐震・免震		3.8	0.50					
1 耐震性	地域係数0.8を1.25倍し1.0とする	4.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30					
1 躯体材料の耐用年数	コンクリートのかぶり厚さ確保	4.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクトはガルバリウム製とする	5.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			4.0	0.20	-	-	
1	空調・換気設備	災害時における機能確保への考慮	5.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	災害時における機能確保への考慮	5.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	災害時における機能確保への考慮	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.1	0.30	-	-	4.1
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	基準階階高4.15~4.30	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=100(m)/704(m)=0.14	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		ヘビーデューティーゾーンの設定	4.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			4.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	空調配管の更新・修繕の考慮	5.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	給排水管の更新・修繕の考慮	5.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	通信配線の更新・修繕の考慮	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		まちなみへの調和、良好な景観形成を考慮	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.75 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEIm=0.75 高効率設備機器使用	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.5	0.20	-	-	3.5
1.1 節水		節水型洋便器を使用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.3	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		雑排水の利用(建替節水第2823号)	4.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		断熱材	3.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+吹付仕上げ(1階腰壁)、OAフロア(事務室内)	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0、GWP=1(吹付硬質ウレタンフォームA種1)	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2概算排出率 92%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		大気汚染物質の発生なし	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制		駐車施設の配慮及び確保(別棟立駐棟)、駐輪場の確保	5.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策ガイドラインを考慮	5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	